

グループディスカッションで話し合う受講者



郷土を知り、人権問題を考える
平成27年度「女と男の生き方学級」開講

5月21日、女と男の生き方学級（主催：町教育委員会生涯学習課）の第1回講座が公民館石坂分館で開催されました。この教室は、人権問題を考えるとともに、地域住民の交流を目的として、「郷土を知ろう～自然・くらし・歴史～」のテーマのもと、運営委員会が企画した内容で全5回開催されます。「我が家の年中行事」について話し合った第1回講座への参加者は、「地域独特の風習など、印象に残る話をたくさん聞け、とてもためになった」と満足げに話していました。



「子ども大学はとやま」に入学した児童ら

将来の“博士”を目指して
「子ども大学はとやま」が開講

東京電機大学で6月6日、「子ども大学はとやま」の入学式と講義が行われ、全6回の講義を受ける町内35人の児童が入学しました。第1回の講義は「紙を使ったサイエンス」。同理工学部の向山義治准教授から、色の合成や表面張力について、実験を踏まえた説明を受けた子どもたちは、「学校でやったことのない実験は面白かった。今後の講義も楽しみ」と話していました。

すごいぞ鳩中生！
根岸さん、高見澤さんが表敬訪問

6月1日、鳩山中学校3年生で、同中学校野球部所属の根岸偉吹さんと、チアリーディングクラブチーム所属の高見澤杏花さんが、小峰孝雄町長を訪れ、それぞれが自身の成果を報告しました。根岸さんは、比企選抜チームの一員として、7月に開催される第32回全日本少年軟式野球大会関東大会に、埼玉県代表として出場します。また、高見澤さんは、4月にアメリカで行われたチアとダンスの国際大会「THE DANCE WORLD」に、日本代表選手の一員として出場するという快挙を成し遂げました。

表敬訪問した根岸さん（左）と高見澤さん（右）



認知症を地域で支える社会へ
認知症サポーター養成講座が開催

6月17日、ふれあいセンターで「認知症サポーター養成講座～認知症予防と対応方法について」が行われ、町内から多くの方が参加しました。講座では、町職員や町民の皆さんなどによる寸劇を通じて認知症の問題を考えた後、講師の毛呂病院認知症疾患医療センターの福島雄大相談員から、認知症の現状や対応方法などを学びました。講座後、認知症サポーターの証である“オレンジリング”を受け取った受講生は、「寸劇などで分かりやすく学べた。認知症の方を地域で明るく見守っていきたい」と話していました。

寸劇を通じて、認知症の対応方法を考える参加者



力を合わせた組体操「Ready to go, Go forward」



みんなでつないだバトンをゴールへ「団対抗混合リレー」



イチ・ニ！「百足リレー」



力を尽くした「綱引き」



親子で息ぴったり「亀井宅急便」

全力で取り組む姿がキラリと光った
町内の小中学校で運動会・体育祭

5月23日に鳩山小学校、今宿小学校、亀井小学校で運動会が、5月30日には鳩山中学校で体育祭が開催され、各会場では児童・生徒が全力で競技に取り組んでいました。

亀井小学校では、全児童が2組に分かれ、今年のスローガン「勝ちぬこう 輝く絆と 仲間の力」を元に、これまで培った絆をより強め、持てる力を一杯振り絞ったり、親子で楽しく競技に取り組んだりする姿が見られました。（写真①②）

また、鳩山中学校では、各学年に渡る混合チームを4団編成し、各団長・副団長を中心に一致団結。炎天下にも負けない程に熱のこもった生徒たちの姿は、見る人に大きな感動を与えていました。競技後、先生方から「全力で取り組んだ姿勢こそが素晴らしい。きっと今後の人生でも大きな財産になる」と、すべての生徒の健闘を称えていました。（写真③～⑥）



みんなの心をひとつに「長縄跳び」